

平成26年3月26日

沖縄県教育委員会
教育長 諸見里 明 殿

古都首里のまちづくり期成会
会長 石川 秀雄
NPO 法人首里まちづくり研究会
理事長 大城裕美



綾門大道周辺の歴史的景観の再現促進に伴う首里高校側石垣の整備等について（要請）

謹啓 時下、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

古都首里のまちづくり期成会及びNPO 法人首里まちづくり研究会の活動に関しましては格別なご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

両会は、首里杜構想の実現に向けて、首里のまちづくり推進を図ること及び歴史と文化が薫る風格あるまちづくりを目的として、活動を行って参りました。

当該地区は、琉球王国時代、海の玄関口那覇港から泊の崇元寺を経て首里城に至る道は、王国随一の公道でした。ことに「下の綾門」と呼ばれた「中山門」と、「上の綾門」と呼ばれた「守礼門」の間を中心とした幅広い道を「綾門大道」といっていました。

18世紀初めに作成された「首里古地図」によれば、綾門大道の周辺には、世子殿である「中城御殿」や王家別寮の「大美御殿」をはじめ、王家陵墓の「玉陵」、さらに「御客屋」や「天界寺」、「安国寺」など王府関連の建造物が建ち並び、王都にふさわしい景観を形づくっていました。

綾門大道周辺の旧跡は、1945年の沖縄戦で壊滅的な被害を受けましたが、守礼門の復元、玉陵の修復、そして首里城の復元と整備が進められています。

つきましては、現在、整備進行中の沖縄県立首里高等学校の校舎等の改築に伴う、校内に位置する下記事項について要請致したくご高配のほど宜しくお願い申し上げます。

謹 白

記

〔要請事項〕

- ① 綾門大道側敷地境界の既設ブロック塀を撤去の上、石垣の整備をして頂きたい。
- ② 当該石垣の校内側は、屋敷囲いの歴史的景観として、フクギの植栽をして頂きたい。

以 上

綾門大道の歴史的景観の再現促進に伴う首里高校側石垣の整備について（背景資料）

1. 綾門大道周辺の旧跡と変遷

■綾門大道周辺の旧跡

琉球王国時代、海の玄関口那覇港から泊の崇元寺^{そうげんじ}を経て首里城に至る道は、王国随一の公道であった。ことに「下の綾門」^{シムヌアイジョー}と呼ばれた中山門^{ちゅうざんもん}と、「上の綾門」^{ウイヌアイジョー}と呼ばれた守礼門^{しゅれいもん}の間を中心とした幅広い道^{アイジョーウツミチ}を綾門大道^{アイジョーウツミチ}といった。18世紀初めに作成された「首里古地図」^{しゅりこちず}によれば、綾門大道の周辺には、世子殿^{せいしでん}である中城御殿^{なかがしくうどん}や王家別寮^{べつりょう}の^{ウツミウドン}大美御殿をはじめ、王家陵墓^{タマウドン}の玉陵^{タマウドン}、さらに御客屋^{ウチヤクヤ}や天界寺^{テンケージ}、安国寺^{あんこくじ}など王府関連の建造物が建ち並び、王都にふさわしい景観を形づくっていた。かつて、この大道では、国王一代に一度限りの「綾門大綱」^{アイジョーウーナ}（大綱引）や、毎年元旦に行われる「馬勝負」^{シマスーブ}（馬術）などが催された。綾門大道周辺の旧跡は、1945年の沖縄戦で壊滅的な被害を受けたが、守礼門の復元、玉陵の修復、そして首里城の復元と整備が進められている。



「首里古地図」（部分）

■旧中城御殿跡（きゅうなかがしくうどんあと）

琉球王国世子^{でんたく}の^{しゅうほう}殿宅跡。尚豊王代（1621～1640年）の創建とされる世子殿は、1875年に龍潭^{りゅうたん}の北側（沖縄県立博物館敷地跡）に移転。跡地は「下の薬園」^{シムヌヤクエン}となった。廃藩置県の後、1891年に沖縄尋常中学校（後の沖縄県立第一中学校）となり、沖縄戦後、首里高校の校地となった。

■大美御殿跡（ウフミウドウンあと）

もとは尚清王の世子時代の別邸。1547 年に増築し、首里城内の女性の休養・産所、また冠婚葬祭の礼式を行う場所となった。綾門大道に接した望楼^{ぼうろう}では、大道で催される綱引きや馬勝負などの見物、また、元旦には、路上の士族から楼上の世子・王子衆へ名刺が進上された。1854 年来琉のアメリカのペリー提督^{ていとく}一行が首里城を訪問した際、同殿で接待が行われた。廃藩置県直後、建物の一部に首里役所が置かれたが（後に移転）、明治後期に敷地・建物ともに払い下げられ、1925 年に沖縄県立第一中学校の運動場となった。

■中山門跡（チュウザンモンあと）

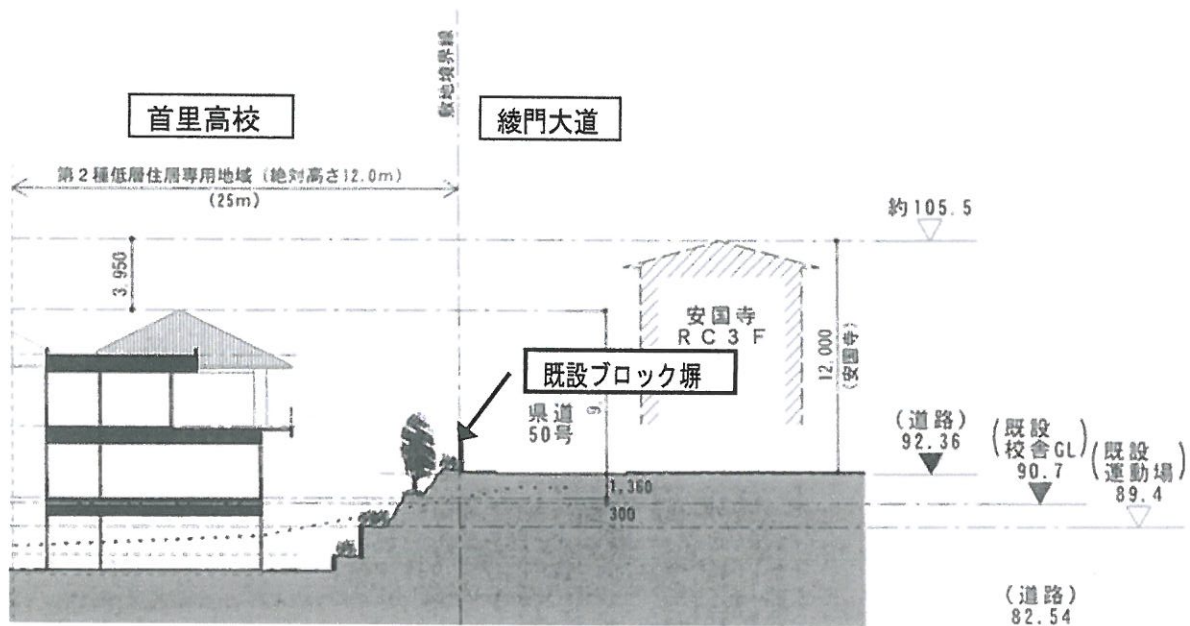
中山門は王都首里第一の坊門で、綾門大道の西端に建っていた。別名「^{シムヌアイジョー}下の綾門」、^{シムントウイ}「下の鳥居」。

1428 年創建といわれる。中国の牌楼式^{はいろうしき}の門で、復元された守礼門と同型同大。1681 年に板葺きから瓦葺きに改められた。中山門の名は、尚巴志王^{しょうはし}の冊封史柴山^{さいざん}（1425 年来琉）が献じた「中山」の文字を、後に扁額として掲げたことによる。廃藩置県（1879 年）後、老朽化が進み、1908 年 5 月払い下げられ、撤去された。

2. 旧中城御殿・大美御殿跡の現況

旧中城御殿・大美御殿跡に位置する首里高校は、現在、改築工事が進められている。綾門大道側敷地境界の既設ブロック塀（高さ 1.2～1.5m）は改修の予定となっていない。



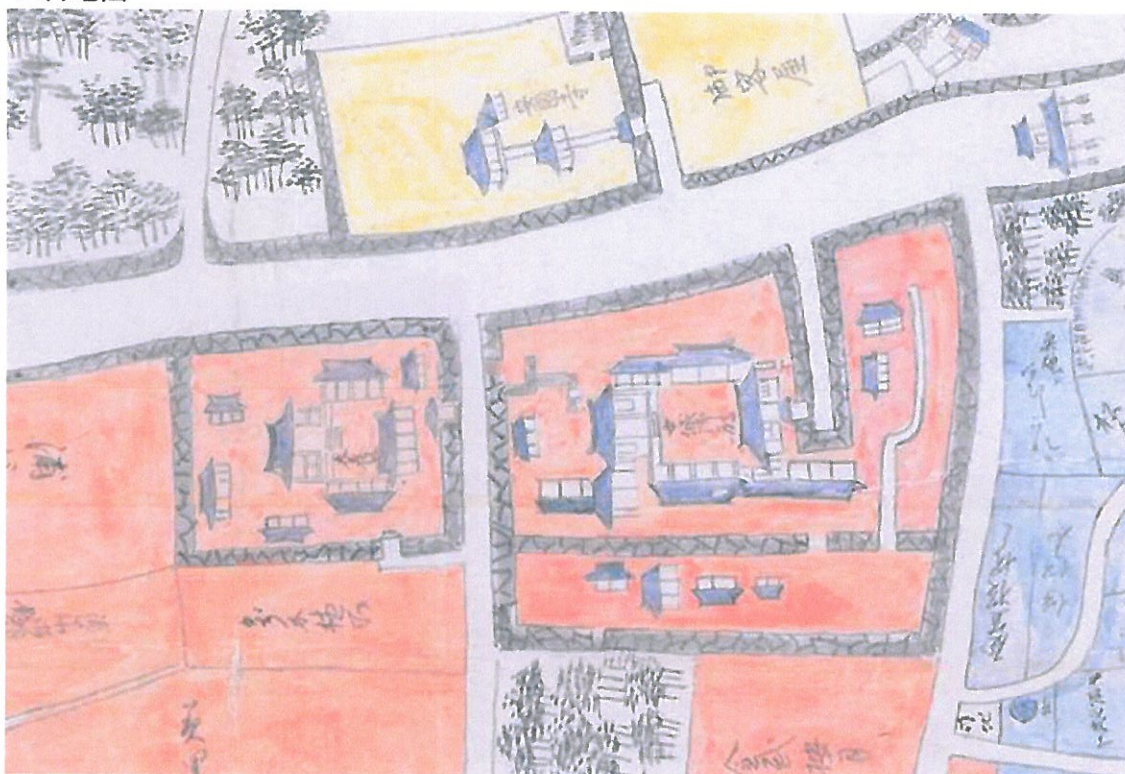


3. 綾門大道の歴史的景観の再現促進整備について

古地図や古写真に見られるように綾門大道の沿道両サイドは、石塀による屋敷囲いや石垣が施され、かつては、王国随一の公道としての威厳と風格ある景観となっている。

首里高校の校内に位置する中城御殿・大美御殿も石塀の屋敷囲い施されている。

■古地図



「首里古地図」(部分)

■古写真



綾門大道



中山門正面



中山門背面

■中山門・綾門大道復元グラフィック図

